

大問1.

①解答例: 教員政策の重要性

教員政策は国の重要課題となっている。進行中の広範な経済的社会的変化により、質の高い教育はこれまで以上に重要になっている。学校や教師への要求はより一層複雑になっている。OECD 諸国の文部大臣は、すべての人への学習の質向上という目標に向け国をあげて取り組んできている。この野心的目標は、すべての生徒が質の高い教育(教授・指導)を受けなければ達成できないであろう。

すべての国が学校の改善を目指し、より高い社会的経済的期待により良く対応しようとしている。学校の最重要の資源として、教師は学校改善の中心にある。学校教育の効率と公平性の向上は、有能な人々が教師として働きたいと思い、その教育の質が高く、すべての生徒が高質な教育を受けられるかどうかにかかっている。

学校や教師への要求はより複雑になっている。社会は今日、学校が異なる言語や生徒の背景に効果的に対応し、文化やジェンダーの課題に配慮し、寛容と社会的結束を促進し、不利な状況にある生徒や学習や行動的問題を抱える生徒に効果的に対応し、新しい技術を活用し、急速に発展する知識諸分野や生徒評価のアプローチに遅滞なく追隨していくことを期待している。教師は、生徒が自己主導的な学習者となって生涯にわたり学び続ける能力と動機付け(意欲)を持つことが期待されている社会・経済に備えさせる能力が必要とされている。

②出題意図:世界の教員政策の基本的動向を述べた英文について、辞書を用いながら、学校教育に関する基本単語と文意を正しく理解できるかどうかを問うもの。

大問2.

①解答例: 今日のデューイ:一つの評価

いくつかの思想の分野で、現代の多くの思想家はデューイ(の思想)に賛同している。彼が学生(生徒)を自己の目的を積極的(能動的)追求者と表現したことは広く受け入れられている。彼の絶対性の否定と認識論における確実性の追求は、現代思想における支配的位置を占めている。自由な社会の内部でコミュニティ(共同体)を求めるジレンマに関する彼の議論は、今日書かれてもおかしくない。そして、最早期の妥当な年齢から学生(生徒)が民主的(政治)形態に参加すべきという主張は、多くの教育者にとって今なお正しいと見なされている。

しかしながら、デューイの最強の支持者でさえ、彼の基本概念の多くに曖昧さがあることを認めている。成長についてその方向性を明示せず意味ある議論が本当にできるのか? デューイが時に個人的な意味と、時に文化と同定する(結びつける)「経験」とは一体何なのか? もしその言葉の背後に生きた存在がなければ、神の概念を保持する意味はあるのであろうか?

おそらく現代の教育者の視点から見たデューイの仕事(著作・業績)に対する最大の反論は、彼が人種、階級、ジェンダーの問題にほとんど注目することなく、科学的思考が問題解決の力となることを大いに強調したことにある。デューイが民主主義について書いた際に思い描いたのは、思慮深い実験家(主義者)の地域コミュニティ(共同体)であり、協働し、試行し、可能性を評価し整理する人々(実験家)であった。彼は人種対立、圧力集団の政治、貧富格差の拡大、そして科学が問題を改善ではなく悪化させるかもしれない不幸な可能性の扱いに多くの助言を与えない。

②出題意図:新教育運動ならびに各国の教育改革理念の中核となってきたデューイの教育思想の評価に関する英文について、辞書を用いながら、教育や社会に関連する基本単語と今日の教育課題に関する文意を正しく理解できるかどうかを問うもの。

教育学研究科 修士課程(教育学専修) 一般2期(専門科目試験)【出題意図・解答例】

① 解答例

1. いじめ防止対策推進法

2. いじめ防止対策法について、そのいじめ事件の内容、学校・教育委員会の対応などを含めて、今後このような事件が起こらないようどのような内容の法律が制定されたかを説明する。

3. 設問9題は、戦前・戦後の歴史、教育思想・制度・方法、教育環境、現代の教育方法などである。設問から3題を選択し、これらの項目の理解力を探ることを目的とする。

② 出題意図

1・2

滋賀県大津市で起こった「いじめ自殺事件」は、全国的に大きな話題となった。とくに、初等・中等教育に携わるものにとっては、この事件と制定された法律について深く理解する必要がある。

3.

教育全般にかかわる基礎的項目である。少なくともこれらについて、説明できる能力が必要である。

以上

教育学研究科 修士課程(子ども発達専修) 社会人 2期(小論文)【出題意図・解答例】

〔問題 1〕

出題意図：不登校の増加という教育課題を正しく捉え、児童一人一人の状況に応じた具体的な支援策を考える力があるかを問う。

解答例：この問題は正答が一義的ではなく、受験者の考えを論述させることから、解答例等の提示はしていません。

〔問題 2〕

出題意図：GIGA スクール構想の目的や ICT 活用の意義を正しく理解した上で、1人1台端末を効果的に活用し、児童生徒の主体的・対話的で深い学びや個別最適な学びを実現する授業を具体的に構想する力を問う。

解答例：この問題は正答が一義的ではなく、受験者の考えを論述させることから、解答例等の提示はしていません。

〔問題 3〕

出題意図：教育の今日的な動向や課題に関心を持ち、ヤングケアラーの実態や背景、子どもの生活・学習への影響を正しく理解しているかを問う。その上で、学校や家庭、福祉・関係機関との連携を踏まえながら、早期発見や相談体制の整備など、多面的な視点から具体的な支援策を考える力を問う。

解答例：この問題は正答が一義的ではなく、受験者の考えを論述させることから、解答例等の提示はしていません。